



平成 30 年 1 月 10 日
独立行政法人 国立科学博物館

ミニ企画展「植物園の動物たち」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 樋口 正信)において、来る 1 月 13 日(土)から 1 月 28 日(日)まで、ミニ企画展「植物園の動物たち」を開催いたします。

昭和 58 年の開園以来、筑波実験植物園では多種多様な植物を植栽し、現在、園内には広葉樹林、針葉樹林、湿地など様々な環境が再現されています。そしてそれらの環境は多くの動物の住処にもなっています。

当館動物研究部では、平成 27 年度から 2 年間にわたり筑波実験植物園内の動物調査を行いました。本展示では、植物園に様々な動物が生息していること、さらにはつくば市に豊かな自然が残されていることを感じていただくため、本調査で発見された動物を標本やパネルを用いて解説します。

つきましては、開催に先立ち、1 月 12 日(金)午後 1 時 30 分～2 時 30 分の間プレス内覧会を実施いたしますので、是非、この機会にご参加いただき、記事の掲載などの広報に関して特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

プレス内覧会への参加をご希望の方は、下欄の問い合わせ先にご一報のうえ、筑波地区研究管理棟 1 階 玄関ホールにお越し下さい。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：國府方 吾郎(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

川田 伸一郎(動物研究部 脊椎動物研究グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

ミニ企画展「植物園の動物たち」実施要項

1. 目的

筑波実験植物園では昭和 58 年の開園以来、多種多様な植物を植栽し、現在、園内には広葉樹林、針葉樹林、湿地など様々な環境が再現されており、それらの環境は多くの動物の住処にもなっている。当館動物研究部では、平成 27 年度から 2 年間にわたり筑波実験植物園内の動物調査を行った。本展示では、その調査で発見された動物を標本やパネルを用いて解説し、植物園に様々な動物が生息していること、さらにはつくば市に豊かな自然が残されていることを感じていただくことを目的とする。

2. 名称 ミニ企画展「植物園の動物たち」

3. 主催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園

4. 会期 平成 30 年 1 月 13 日（土）～平成 30 年 1 月 28 日（日）計 14 日間
（1 月 15 日（月）・22 日（月）は閉園）

5. 場所 国立科学博物館 筑波実験植物園 教育棟

6. 展示構成

1) 動物標本とパネルによる植物園でみつかった絶滅危惧種を含む珍しい動物の紹介

国蝶のオオムラサキ、コガネグモ、オニヤンマ、ミナミメダカなど絶滅危惧種を含む珍しい動物を紹介します。



オオムラサキ



コガネグモ



ミナミメダカ

2) 生きたモグラやノネズミなどの飼育展示

ガラス箱で飼育している生きたモグラやノネズミの動きを観察できます。



アズマモグラ

7. 関連事業

① 展示案内

a 日時

平成 30 年 1 月 14 日（日）11:00～11:30/14:00～14:30

b 講師

動物研究部 川田 伸一郎

c 場所

当園教育棟

d 内容

植物園を中心としたつくば市周辺に生きる貴重な動物を研究者が展示パネルや標本をもとに説明します。

e 申込等

事前予約不要

② モグラの痕跡を探してみよう

a 日時

平成 30 年 1 月 21 日（日） 13 : 30 ~ 14 : 30 ※雨天決行

b 講師

動物研究部 川田 伸一郎

c 集合場所 当園教育棟

d 内容

モグラ博士と一緒に園内を歩きながらモグラの痕跡を探します。もしかしたら、生きたモグラを見つけることができるかも？

e 申込等 定員:20名（事前予約制） 申込先 : 029-851-5159

（イベントの1ヶ月前から受付開始します。）